

吉田研セミナー

講演者: 野田 博文氏 (理研 仁科センター)

日時: 7月25日 (金) 午後 1時 – 2時30分

場所: 青山学院大学 理工学部 L棟 L706b

題目: X線の時間変動から迫る活動銀河核エンジンの描像

活動銀河核(AGN)からの一次X線は、超巨大ブラックホール(BH)周辺に形成された降着円盤の黒体光子が、BH近傍の高温電子雲で逆コンプトン散乱を受けて生じると考えられる。この一次X線の特徴を調べれば、BHを利用して、重力エネルギーから効率よく放射を生成する「AGNエンジン」の描像に迫ることができる。我々は、「すざく」が捉えたAGNの激しい時間変動を利用することで、X線信号をモデルに依らずに成分に分解することに成功し、一次X線を系統的に調べることに成功した。その結果、AGNエンジンは複数のコロナを合わせ持つ、いわばハイブリッド型であったことを突き止めた。